

第3次みえ歯と口腔の健康づくり基本計画（変更点对照表）

全体		
該当箇所	令和6年1月18日時点（最終案）	令和5年11月20日時点（中間案：パブリックコメント）
全体	フォントサイズ12ポイント	フォントサイズ11ポイント
全体	用語解説「*」	—
全体	図表番号付与	—
第1章 基本方針		
該当箇所	令和6年1月18日時点（最終案）	令和5年11月20日時点（中間案：パブリックコメント）
P.1 1 計画策定の経緯	平成25（2013）年3月には、条例第12条の規定に基づき「みえ歯と口腔の健康づくり基本計画」（以下「計画」という。）を策定しました。平成30（2018）年3月に「第2次計画」を策定し、歯と口腔の健康づくりについての現状や課題、施策の方向性を示すとともに、三重県口腔保健支援センター*を中心に、県民が歯と口腔の健康づくりに関心と理解を深める取組や、 取組 を推進するための社会環境の整備を図ってきました。	平成25（2013）年3月には、条例第12条の規定に基づき「みえ歯と口腔の健康づくり基本計画」（以下「計画」という。）を策定しました。平成30（2018）年3月に「第2次計画」を策定し、歯と口腔の健康づくりについての現状や課題、施策の方向性を示すとともに、三重県口腔保健支援センター*を中心に、県民が歯と口腔の健康づくりに関心と理解を深める取組や、 それ を推進するための社会環境の整備を図ってきました。
P.2 3 計画の位置づけ 4 計画期間	「第3次三重の健康づくり基本計画（ ヘルシーピープルみえ・21 ）」	「第3次三重の健康づくり基本計画」
P.2 4 計画期間	計画策定後12年（令和17（2035）年度）を目途に最終評価を行い、取組結果を評価するとともに、次期計画にその評価結果を反映させます。	計画策定後、12年（令和17（2035）年度）を目途に最終評価を行い、取組結果を評価するとともに、次期計画にその評価結果を反映させます。

第2章 第2次みえ歯と口腔の健康づくり基本計画の評価と課題		
2 主な成果と課題		
該当箇所	令和6年1月18日時点（最終案）	令和5年11月20日時点（中間案：パブリックコメント）
P. 3 [青・壮年期・高齢期] 1行目	・妊婦の歯科検診*に取り組む市町数は、平成28（2016）年度13市町、令和4（2022）年度26市町と増加しました。また、健康増進法に基づく歯周病検診に取り組む市町数は、平成28（2016）年度22市町、令和4（2022）年度28市町と増加しました。*3	・妊婦の歯科検診に取り組む市町数は、平成28（2016）年度13市町、令和4（2022）年度26市町と増加しました。また、健康増進法に基づく歯周病検診に取り組む市町数は、平成28（2016）年度20市町、令和4（2022）年度28市町と増加しました。*3
P. 4 [青・壮年期・高齢期] 1行目	・喫煙防止教室を行っている市町数は、平成28（2016）年度13市町、令和4（2022）年度3市町と減少しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大をふまえ、教室の開催を見合わせた市町がありました。*3	・喫煙防止教室を行っている市町数は、平成28（2016）年度13市町、令和4（2022）年度3市町と減少しました。新型コロナウイルスの感染拡大をふまえ、教室の開催を見合わせた市町がありました。*3
第3章 歯と口腔の健康づくりの目標		
該当箇所	令和6年1月18日時点（最終案）	令和5年11月20日時点（中間案：パブリックコメント）
P. 6 2 めざす姿に向けた施策の方向 ○口腔機能の獲得・維持・向上	・口腔機能を獲得するため、子どもの発達段階に適した形態の食事の提供や、よく噛んで食べる指導等の取組を支援します。	・口腔機能を獲得するため、子どもの発達段階に適した形態の食事を提供することや、よく噛んで食べる指導等の取組を支援します。

第4章 歯と口腔の健康づくりの推進						
1 ライフステージおよびライフコースアプローチに基づいた歯と口腔の健康づくりの推進						
該当箇所	令和6年1月18日時点（最終案）			令和5年11月20日時点（中間案：パブリックコメント）		
P.14 (2)学齢期 《現状と課題》 1行目	・12歳児でむし歯のない人の割合は、令和4（2022）年度全国74.2%、本県71.3%と全国平均より低く、また、一人平均むし歯数は、全国0.56本、本県0.61本と全国平均より多いですが、いずれも改善傾向にあります。			・12歳児でむし歯のない人の割合は、令和3（2021）年度全国71.7%、本県69.9%と全国平均より低く、また、一人平均むし歯数は、全国0.63本、本県0.74本と全国平均より多いですが、いずれも改善傾向にあります。		
P.14 (2)学齢期 《現状と課題》 4行目	・17歳児でむし歯のない人の割合は、令和4（2022）年度全国57.0%、本県57.4%と全国平均と同等に良好な状況です。			・17歳児でむし歯のない人の割合は、令和3（2021）年度全国55.5%、本県52.3%と全国平均より低い状況です。		
P.18 (3)青・壮年期 《現状と課題》 1行目	・健康増進法に基づく歯周病検診に取り組む市町は、平成28（2016）年度22市町から、令和4（2022）年度28市町と増加しています。全ての市町で実施されるとともに、受診率が向上するよう市町の取組を支援する必要があります。			・健康増進法に基づく歯周病検診に取り組む市町は、平成27（2015）年度20市町から、令和4（2022）年度28市町と増加しています。全ての市町で実施されるとともに、受診率が向上するよう市町の取組を支援する必要があります。		
第4章 歯と口腔の健康づくりの推進						
1 ライフステージおよびライフコースアプローチに基づいた歯と口腔の健康づくりの推進						
該当箇所	令和6年1月18日時点（最終案）			令和5年11月20日時点（中間案：パブリックコメント）		
P.30 歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士数	歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士数（単位：人）					
	保健医療圏	歯科医師数	歯科衛生士数	歯科技工士数	人口10万人あたり歯科医師数	人口10万人あたり歯科衛生士数
	東紀州	44	47	21	67.5	72.1
	歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士数（単位：人）					
	保健医療圏	歯科医師数	歯科衛生士数	歯科技工士数	人口10万人あたり歯科医師数	人口10万人あたり歯科衛生士数
	東紀州	325	648	142	75.2	149.9
	※「南勢志摩」の数値					